



ゴールデンウィークも終わりました。みなさん、どのようにお過ごしだったでしょうか。入園、進級してから一か月がたち、随分新しい生活やクラスにも慣れてきた様子が見られます。その反面、一生懸命気を張っていた疲れが出てくる時期でもあります。連休前にお便りでお知らせしたとおり、新型コロナウイルス感染症の対応も変わってきています。少しずつコロナ以前の生活に戻りつつありますが、5類に移行しても感染症そのものがなくなるわけではありません。基本的な対策を講じながら、楽しく安全な園生活を心がけていきたいと思えます。引き続き、保護者の皆様にはお子さんの体調管理等についてご協力をよろしくお願いいたします。

各クラスで楽しい遊びが繰り広げられています

年少児は、保育室でのままごとや粘土・お絵かき遊びから、だんだん戸外に目が向いてきました。なんといっても魅力的なのは、テラスの目の前にある砂場。天気の良い日は、ぐんぐんタイムの後にみんなで砂遊びを楽しんでいます。教師が大きな山をスコップで作りはじめると、「ぼくも」とスコップをもって一緒に山作りが始まります。そこへ水を流すと「川みたい」と足をつけてベチャベチャの感触を楽しみます。砂場の周りでは、カップに砂と水を入れて「先生、食べて」とごちそう作りをする姿もあります。今は、教師が楽しんでいることを一緒にしたり、見てもらったりが嬉しい年少児ですので、教師も一緒になって砂遊びをして、砂や水に触れ、ベチャベチャドロドロの感触を味わったり、山や川など好きな物を作ったりする面白さを味わえるようにしています。

年中児は、同じ砂遊びでも昨年の経験があります。園庭南側の砂場で大きな山や川作りに取り組んでいます。でも、いくらバケツで川に水を流してもすぐに水がなくなっていくます。(実は砂の種類が違います)「あれ〜?」「水がなくなった」と砂をのぞき込む子ども達。なくなるならば、どんどん水を持ってこようと、小さいバケツで何度も水くみをして川を作ろうと一生懸命。ホースが届かなくて水が入ってあるタライは築山の近くにあるので、そこまで水を汲みにいかなければなりません。でも「川に水をためたい」という願いをもって、何度も何度も水を汲んでは流します。そこで、私が大きめのバケツをさりげなく置いておきました。するとすぐに見つけ「これだと水がたまるかも」と大きいバケツに水を入れて運ぼうとしました。しかし……。重くて一人ではもてません。「手伝ってー」「いいよ」「よいしょよいしょ」「重いけど頑張ろう」・・・自然に友達と力を合わせたり、声を掛け合ったりする姿が見られました。そして、ジャバーと大量の水が川に流され、水がたまり「やったー」と大喜びでした。まだ砂の種類の違いには気づきませんが、水がなくなる不思議さや、「水をためたい」という願いのために黙々と水を汲んだり、友達と力を合わせたりしながら、気分を開放して砂遊びを存分に楽しむ姿が見られました。

年長児は、紙飛行機を作って園庭で飛ばすうちに、どこから飛ばすと良く飛ぶのか探すようになりました。そして見つけたのが築山の上。「ここからだ良く飛ぶよ」「だって風が吹くもん」と、風を利用することを思いついたようです。繰り返し遊ぶうちに、風の向きや風の強さなどで紙飛行機の跳び方が変わってくる面白さを感じていました。風を感じたことから、昨年の年長児の遊びを思い出したのでしょうか、「先生、ビニール袋ちょうだい」と、大きなビニール袋に風を集めて遊ぶようになりました。走ったら袋が膨らんだり、風が吹いている時に築山の上は何もしなくてもビニール袋が膨らんだり、たくさん風を含んだビニール袋から手を離すとピューンと飛んでいったり……。風の面白さを身体中で感じ、いろいろなことを発見していました。また、平田の街探検『わくわく おもしろ たんけん』では、近くの公園や愛宕山公園、小学校などへ出かけ、いろいろなことを見つけたり感じたりしています。これからどんな発見があるのか、どんな遊びに広がっていくのか楽しみです。



「ベチャベチャ、気持ちいいね!」(年少児)



「いっぱいお水を流すよ!せーの!」(年中児)



「ビニール袋に風を集めて飛ばそう!」(年長児)

年長児の「きらりん挨拶隊」

毎月、月初めにタスキをかけて玄関に立ち、登園してくる園児とその保護者に挨拶をし、挨拶の輪を広げている「きらりん挨拶隊」。今年の年長児にとって初めての挨拶隊です。何日も前からとても楽しみにし、当日もタスキをかけ、さっと玄関に並んで意欲満々でした。園児が登園してくるたびに声をそろえて「おはようございます！」と元気いっぱい挨拶をし、保護者が帰られる時は「さようなら」と挨拶をします。例年は「まっすぐ並んでね」「お辞儀もしたほうがいいね」等声をかけるのですが、今年の年長児は自分達で並び方を考え、声を揃えて挨拶をしています。どうしてだろう・・・と考えた時に昨年度の終わりの挨拶隊の様子を思い出しました。昨年度の年長児が最後の挨拶隊の時に後ろでじっと見たり、一緒にお辞儀をしていたのです。すでにその時から「次は自分達の番」と気持ちの上で引き継いでいたのだと思うと、教師がやり方を教えあれこれ指示するよりも、自分達の目で見、感じ、考えることのできる環境を整える大切さを改めて感じました。帰り際に保護者の方が「とても素敵な挨拶の音が響いていましたよ」と褒めてくださいました。



このほり見学に行ったよ

5月1日に年中・年長児で、平田船川のこのほり見学に出かけました。コロナ禍で掲揚が中止になったりし、見学に出かけるのは3年ぶりです。近くまで来るとこのほりが悠々と泳いでいるのが目に入り、もっと近くまで来るとこのほりがはためく音が聞こえ、子ども達は大喜びでした。この日は結構強い風が吹いていたので、きっとこんなにたくさんのこのほりが勢いよく泳ぐのを間近で見たのは初めての子もいたのではないのでしょうか。『平田船川このほり群泳実施協議会』の村田さんにお話を伺いました。このほりは子ども達の健やかな成長を願って掲げられること、家で掲げられなくなったこのほりをこうして船川の上で掲げてみんなに見てもらっていることなどを話してくださいました。子ども達はこのほりを見ているうちに自然に「このほり」の歌を歌ったり、大きな口を開けて泳ぐこのほりを見て「あのこのほりみたいに泳ぎたいな」「気持ちよさそう」と話したりし、この時期ならではのこのほりを五感で感じていました。



今年度最初の保育公開・PTA 総会

4月28日は、今年度初めての保育公開とPTA 総会を行いました。保育公開では、登園からぐんぐんタイム（全園児活動）、朝の会の様子を見ていただきました。短時間でしたが、異年齢の友達と触れ合う様子や、新しいクラスでのびのびと過ごす姿をご覧いただけただけのではと思います。PTA 総会では今年度の予算や活動を承認していただき、いよいよ本格的に動き出します。役員・委員さんを中心に皆さんとても協力的なので、楽しいPTA 活動で子ども達の満面の笑顔が見られそうです。園経営や交通安全講話も行いました。熱心に聞いていただき、嬉しく思いました。ありがとうございました。

春の遠足、楽しかったよ

8日（月）は、前日まで降っていた雨もあがり、予定通り、年少組は親子で愛宕山公園へ、年中・年長児は幼稚園バスに乗って浜山公園へ遠足に出かけることができました。私は浜山公園へ引率したので愛宕山公園での様子は後で聞きましたが、親子で動物を見たり、遊具で繰り返し繰り返し遊んだり、美味しいお弁当を食べて笑顔いっぱいだったようです。浜山公園は他の団体は来ていなくて、どの遊具も存分に使って遊ぶことができました。年中児は、入り口のタコの滑り台やキノコの形の滑り台が面白かったようで、何度も登ったり滑ったりを楽しみました。年長児は、公園の奥にあるアスレチックに挑戦！綱に足をとられそうになりながらもなんとかよじ登り、トランポリンをみんなですて、最後はローラー滑り台を楽しみました。心行くまで遊んだ後は、美味しいお弁当とお楽しみのおやつで、おなかも心も満たされたようでした。お弁当な

準備を
ありがとう
ございました。



「おうちの人と初めての遠足」（年少児）



「タコの滑り台、面白ーい！」（年中児）



「トランポリン、いい気持ち」（年長児）